

平成 28 年 度

小学校教員資格認定試験

教職に関する科目 (Ⅱ)

社 会

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 28 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊙ ⊗ ⊕ ⊖

以下の問いでは、「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領(平成20年3月28日文科省告示第27号)第2章 第2節 社会」を指し、『小学校学習指導要領解説』とは『小学校学習指導要領解説 社会編』(平成20年8月)を指すものとする。

問1 次のA～Dの文は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 第1節 社会科の目標」に示されている「教科の目標」についての説明内容である。これらの文のうち、正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 小学校社会科は、地域社会や我が国における人々の社会生活を広い視野からとらえ総合的に理解することを通して、市民的資質の基礎を養うことを究極的なねらいとしている教科である。
- B 小学校社会科は、身近な地域や市や県についての理解を深め、地域社会に対する誇りと愛情を育てるとともに、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てることをねらいとしている。
- C 社会科の学習では、社会生活についての理解を深め、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てることを通して、国家・社会の形成者として、その発展に貢献しようとする態度や能力を育てようとしている。
- D 社会科の学習指導において、地域社会や我が国の国土、産業、歴史などに対する理解と愛情を育て、社会的な見方や考え方を養うとともに、課題解決学習を一層充実させ、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことを一層重視することが大切である。

- ア AとC
- イ AとD
- ウ BとC
- エ BとD

問 2 次の文は、「小学校学習指導要領」の〔第3学年及び第4学年〕〔第5学年〕〔第6学年〕それぞれに掲げられた能力に関する目標の記述である。文中の空欄 ～ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔第3学年及び第4学年〕

地域における社会的事象を ，調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

〔第5学年〕

社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や ，統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

〔第6学年〕

社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や ，年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

	A	B	C
ア	観 察	地図帳	価 値
イ	観 察	地球儀	意 味
ウ	見 学	地図帳	価 値
エ	見 学	地球儀	意 味

問 3 次のア～エの文は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 第1節 第3学年及び第4学年の目標と内容」における、「県(都、道、府)内の特色ある地域の人々の生活」に関する文章である。記載されている解説文として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域を含めて、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域の中から二つ程度を選択して取り上げることが考えられる。

イ 「伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域」とは、県内で古くから伝わっている技術や技法を受け継いで行われている工業や地域の特性を生かして独自の製品をつくっている工業など、地域に密着した産業の盛んな地域を指している。

ウ 「自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域」とは、人々に様々な恵みをもたらしている自然の風景や歴史的な景観、文化財や年中行事、その土地の特性を生かした産物などを地域の資源として保護・活用し、地域の活性化に努めている地域が考えられる。

エ 特色ある地域を選定する際には、学校が置かれている市の特色などを考慮し、例えば、自然環境、伝統や文化、産業などから見て自分たちの住んでいる市と類似した地域を選択し、比較しながら、県全体の特色をとらえることができるように配慮する必要がある。

問 4 次のA～Dの文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」の第5学年の内容(1)「我が国の国土の自然などの様子」に関する記述である。記載されている文として正しいものの組合せを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土
- B 国土の地形や気候の概要、気候条件から見て特色ある地域の人々の生活
- C 公害から国民の健康や地球環境を守ることの大切さ
- D 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

- ア AとC
- イ AとD
- ウ BとC
- エ BとD

問 5 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」における第6学年の「内容の取扱い」では、具体的な人物が例示されている。次のア～エの中から全ての人物が例示されている選択肢を一つ選んで記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|------|-------|------|
| ア | ザビエル | シーボルト | ペリー |
| イ | 源頼朝 | 足利尊氏 | 徳川家康 |
| ウ | 平賀源内 | 杉田玄白 | 伊能忠敬 |
| エ | 西郷隆盛 | 大久保利通 | 木戸孝允 |

問 6 次のA～Dの文は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 各学年の目標及び内容」の「内容」について述べたものである。これらの文のうち、第3学年及び第4学年の「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」の解説として、正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 人物の働きや代表的な文化遺産を中心に歴史を学ぶことによって、今日の自分たちの生活は、長い間の我が国の歴史や先人たちの働きの上に成り立っていることや、遠い祖先の生活が自分たちの生活と深くかかわっていることを理解できるようにする。
- B 実際の指導においては、取り上げた文化遺産を通して、それらが我が国の先人の工夫や努力によって生み出されたものであることや、私たちの祖先の手によって現在まで大切に受け継がれてきたこと、それらは我が国の伝統や文化の特色や現在の私たちの生活や文化の源流などを考える上で欠かすことができない高い価値をもっていることを具体的に理解できるようにするとともに、我が国の伝統や文化を大切にしようとする態度を育てるようにすることが大切である。
- C ここでは、用水路を開く、藩校や私塾を設ける、新聞を発刊する、新たに産業を興すなど、地域の発展に貢献してきた人々が、強い信念をもって情熱を傾け、よりよい生活を求めて努力したことや、これらの先人の働きや苦心によって地域の人々の生活が向上したことなどを取り上げることが考えられる。
- D 実際の指導に当たっては、先人の具体的事例を選択して取り上げ、学習が具体的に展開できるようにする。例えば、博物館や郷土資料館などを訪ね、当時使われていた道具を調べたり、実際に触れたり使ったりする活動を通して、先人の工夫や努力、当時の人々の生活の様子などを具体的に調べることが考えられる。

- ア AとB
イ AとC
ウ BとD
エ CとD

問 7 次の A～D の社会科教育史に関わる文の中から、正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 1947(昭和 22)年版及び 1951(昭和 26)年版の学習指導要領社会科編で提示され、この時期に実践が進められた社会科を、特に初期社会科と呼んでいる。「なすことによって学ぶ」という経験主義を基盤に、川口プラン・桜田プランなど各地で様々なカリキュラムプランが作成された。
- B 学習指導要領作成を文部省に限定した上で、「試案」の文字を外して社会科のみ改訂した 1955(昭和 30)年版学習指導要領、そして初めて告示として『官報』に公示をした 1958(昭和 33)年版学習指導要領において、社会科の性格は大きく変わった。中でも系統学習から問題解決学習への転換が特筆される。
- C 高度経済成長を背景に大きな社会問題となった大気汚染や水質汚濁の解決などが、社会科授業で取り上げられることになった。当初、社会科では地球全体の環境を対象とした環境学習を中心としていたが、その後は工場による公害を対象とした公害学習に精選されて今日に至っている。
- D 1989(平成元)年改訂の学習指導要領により、教育課程の大幅な変更がなされた。新教科「生活科」の創設により小学校第 1 学年及び第 2 学年の社会科と理科は廃止されたため、小学校社会科は第 3 学年から第 6 学年までの教科となった。

- ア A と B
イ A と D
ウ B と C
エ C と D

問 8 次の(1)、(2)の文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」に示された第6学年の目標の記述である。文中の ～ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。
- (2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や における我が国の役割を理解できるようにし、 を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。

	A	B	C	D
ア	歴史遺産	伝 統	アジア	平 和
イ	文化遺産	文 化	アジア	安 全
ウ	歴史遺産	文 化	国際社会	安 全
エ	文化遺産	伝 統	国際社会	平 和

問 9 次のA～Dの文は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 第1節 社会科の目標」の「2 学年の目標」に掲げられた「(2)各学年の目標の系統」に関する記述である。これらの文のうち、第5学年の目標の記述の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- B 環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする。
- C 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにする。
- D 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにする。

- ア AとD
イ AとC
ウ BとD
エ BとC

問10 次のア～エの文は、『小学校学習指導要領解説』の「第1章総説 3 社会科改訂の要点」に示された記述である。次のア～エの中から誤っているものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 地域の文化財や年中行事に関する内容については、「地域に残る(文化財や年中行事)」を「地域の人々が受け継いできた(文化財や年中行事)」と改めた。
- イ 国土の様子に関する内容のうち、抽象的な学習になりがちな人口や資源の分布などは中学校へ移行統合した。
- ウ 大和朝廷による国土の統一に関する内容については、新たに「狩猟・採集」を加え、これまでの「農耕の始まり」を「狩猟・採集や農耕の生活」と改めた。
- エ 地域の人々の健康を守るための諸活動に関する内容については、新たに「資料を活用したり(して調べること)」や、「良好な生活環境(の維持と向上に役立っていることを考えるようにする)」を加えた。なお、内容の取扱いにおいては、新たに「節水や節電などの資源の有効な利用についても扱うこと」や、「社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うものとする」を加えた。

問11 平安～鎌倉時代の政治状況について述べた文として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 天皇が幼少の時には関白、成人した後は摂政を置くことが通例となった。
- イ 白河天皇が堀河天皇に譲位し、自らは上皇となって院政を開始した。
- ウ 北条時宗が、御家人の訴訟を専門的に扱う機関として評定所を設置した。
- エ 北条時頼が、元の襲来に備えて、九州北部などに水域と呼ばれる防塁を御家人に設けさせた。

問12 次のア～エの文章を古い順に並べ替えた場合、3番目に当たるものを、ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 条約改正交渉の失敗を機に、政府を批判する内容の三大事件建白運動が起こった。
- イ 第1次松方内閣は、激しい選挙干渉により民党をおさえようとしたが、成功しなかった。
- ウ 自由民権運動は激化諸事件とそれに対する弾圧のくり返し、自由党の解党、立憲改進黨党首の脱党という事態の中で一時衰退した。
- エ 第1回総選挙の結果、民党が衆議院の過半数を占めた。これに対して政府は、超然主義をにかけて民党と鋭く対立した。

問13 次の文は、ロシアとアジアとの関係について述べたものである。これらの文のうち正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 15世紀に、イヴァン3世は北東ロシアを統一し、ビザンツ帝国から独立した。
- イ 18世紀後半、女帝エカチェリーナ2世は、清に初めて使節ラスクマンを送った。
- ウ 1875年、アレクサンドル2世は、日本と条約を結び、樺太(サハリン)全島をロシア領とした。
- エ 1904年、ニコライ2世は、千島諸島の支配をめぐって日本との戦争に入った。

問14 次の文は、社会変革を目指した19世紀の思想家たちの特徴について述べたものである。これらの文のうち誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア イギリスの工場経営者オーウェンは、労働者の待遇改善を唱え協同組合の設立に努力した。
- イ フランスのブルードンは、国家や政治権力を否定し、相互扶助による社会改革を主張した。
- ウ ドイツの学者マルクスは、資本主義社会の分析を行い、労働者の国際的団結を呼びかけた。
- エ ロシアの貴族バクーニンは、全ての戦争に反対し、無抵抗主義を唱えた。

問15 表1は、TPP(環太平洋経済連携協定)交渉参加国のうち、4か国の対日輸出品目割合(金額ベース(円))について上位5品目(2014年)を示したものである。A～Dに当てはまる国名の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

表1

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
A	液化天然ガス (45.3%)	機械類 (19.3%)	石油製品 (9.2%)	合板 (3.0%)	原油 (2.3%)
B	銅 鉱 (56.9%)	魚介類 (16.1%)	ウッドチップ (5.4%)	モリブデン鉱 (4.3%)	銅・同合金 (2.5%)
C	石 炭 (10.8%)	なたね (10.6%)	木 材 (9.6%)	肉 類 (8.6%)	銅 鉱 (7.4%)
D	液化天然ガス (31.2%)	石 炭 (26.4%)	鉄鉱石 (18.7%)	肉 類 (3.7%)	銅 鉱 (3.1%)

『日本国勢図会 2015/16年版』より作成

	ア	イ	ウ	エ
A	マレーシア	カナダ	チリ	オーストラリア
B	チリ	マレーシア	オーストラリア	カナダ
C	カナダ	オーストラリア	マレーシア	チリ
D	オーストラリア	チリ	カナダ	マレーシア

問16 表2は、関東地方の都県について、全農家数に占める販売農家の割合、農業産出額、耕地面積1 ha当たりの農業産出額、農業産出額に占める品目別割合を示したものである。A～Dに当てはまる県名の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

表2

	全農家数に占める販売農家の割合(%)				農業産出額(億円)	耕地面積1 ha当たりの農業産出額(万円)	農業産出額に占める品目別割合			
	主業農家(%)	準主業農家(%)	副業的農家(%)	米(%)			野菜(%)	果実(%)	畜産(%)	
栃木	74.3	23.0	32.1	44.9	2690	214.3	25.5	30.1	2.7	35.5
千葉	73.9	28.5	23.4	48.0	4141	324.3	17.1	40.7	3.8	26.4
A	68.7	21.0	21.2	57.8	4356	251.8	20.1	40.6	3.1	26.0
B	61.0	20.1	23.7	56.2	2012	258.9	20.0	50.9	3.1	14.1
C	55.7	26.7	15.5	57.7	2303	314.2	7.0	40.6	3.7	41.1
D	53.1	29.0	25.0	46.0	804	402.5	5.0	55.2	10.9	18.9
東京	52.0	30.9	28.5	40.6	293	395.9	0.3	58.7	10.9	6.8

統計年次は、全農家数に占める販売農家の割合とその内訳が2010年、農業産出額、耕地面積1 ha当たりの農業産出額、農業産出額に占める品目別割合が2013年。

『データブック オブ・ザ・ワールド 2016年版』より作成

	ア	イ	ウ	エ
A	茨城	群馬	埼玉	群馬
B	埼玉	神奈川	茨城	埼玉
C	群馬	茨城	神奈川	神奈川
D	神奈川	埼玉	群馬	茨城

問17 次の文は、近世日本の思想について述べたものである。これらの文のうち正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 『経済録』を著した太宰春台は、「商人の買利は士の禄に同じ」と述べて商人が上げる利益の正当性を主張し、商人を卑しむ旧来の考え方を批判した。

イ 『自然真営道』を著した二宮尊徳は、荒廃した農村の復興事業に生涯を捧げ、勤勉に働くとともに生活を合理的に設計して暮らすべきことを教えた。

ウ 『古事記伝』を著した本居宣長は、感情の自然な発露に人間性の真実を認め、その典型的なあり方として『万葉集』に見られる益荒男ますらおぶり振を高く評価した。

エ 『童子問』を著した伊藤仁斎は、朱子学の教える厳格主義は孔子の精神に反していると批判し、「仁」とは「愛」にほかならなると主張した。

問18 次の文は、近代ヨーロッパの思想について述べたものである。これらの文のうち誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ベーコンは「知は力なり」と述べ、偏見や先入見を排除して経験的事実から帰納的に自然法則を導き出すことにより、人間は自然を支配できるようになると考えた。

イ ホブズは人間の自然状態を「万人の万人に対する戦い」と捉え、秩序ある社会を構築するためには自然権を国家に信託することにより、権利の保障をはかるべきだとした。

ウ デカルトは「われ思う、ゆえにわれあり」と述べ、考える自我の存在こそが疑う余地のないものであるとし、これを基礎としてあらゆる知識を演繹的に導くべきと説いた。

エ カントは理性の命じる道徳法則に自発的に従って行動する主体を人格と呼び、人間の尊厳の根拠はここにあるとして、人格の尊重を目指すべきであるとした。

問19 第二次世界大戦後における国際社会に関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 1956年、スターリン批判を表明したソ連に対し中華人民共和国が反論、中ソ対立が生じた。

イ 1971年、中華民国は中華人民共和国に代わり国際連合の中国代表権を得た。

ウ 1972年、日本と中華人民共和国は日中共同声明を出し国交正常化がなされた。

エ 1978年、中華人民共和国は日本と日中平和友好条約を締結し、対日賠償請求権を放棄した。

問20 政党政治に関する記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 議会での採決などに当たり各政党が所属議員に党としての賛否に従うことを強制することを党議拘束というが、党議拘束には議会制民主主義の精神に反するのではないかとの批判もある。

イ 大衆政党とは大衆とその組織に支持され、政党の党首・幹部が大衆の政治的諸要求を集約し、政治に反映していく政党であり、普通選挙制の導入により登場した。

ウ 大統領制の下では、議会の議員の選挙と大統領の選挙が別に行われるため、議会で多数を占める政党と大統領の属する政党が異なることもある。

エ 日本の政党は一般的に党組織が強く、党員が党に納入する会費である党費が党財政に占める割合が大きい。